

平成23年度 鹿児島市小・中連携研修会（吉田南中グループ）まとめ

- 1 開催期日 平成23年6月15日（水）
- 2 会場 鹿児島市立牟礼岡小学校
- 3 参加校 吉田南中学校，本城小学校，本名小学校，宮小学校，牟礼岡小学校
（参加者数） (23) (6) (17) (10) (12)
- 4 研究主題

主体的に学び，豊かな人間性をもった児童・生徒の育成
～確かな学力（基礎・基本）の定着を目指した学習指導と
個に応じた生徒指導・特別支援教育の在り方を通して～

5 主題設定理由

「生きる力」の育成には，確かな学力を定着させるための学習指導と豊かな人間性の育成を目指した生徒指導と個に応じた指導の充実が不可欠である。
特に児童生徒の発達段階に応じた教育活動を推進するには，小・中学校がそれぞれの特質を理解するとともに，指導の系統性と連続性を重視し，これらを学習指導の中にいかしていくことが重要である。以上の理由から本研究主題を設定した。

6 研究の視点

- (1) 確かな学力の育成
- 基礎・基本の定着を目指した指導と評価
 - 家庭学習の現状と今後の取り組ませ方
- (2) 生徒指導の充実
- 問題行動（いじめや不登校等）への対応
 - 家庭・地域との連携の在り方
- (3) 特別支援教育の充実
- 特別支援教育の実践を通じた各学校の現状と課題
 - 小・中学校が連携した進路指導の在り方

7 日程・内容

14:00～	受付
14:15～15:00	授業参観
15:15～15:25	全体会 研究主題の確認，分科会での研究協議の進め方等
15:30～16:40	分科会及び閉会行事 学習指導部，生徒指導部，特別支援教育部の3分科会
	① 問題提起（各学校4分×5校） 20分
	② 協議 40分
	③ 指導助言 8分
	④ 閉会行事（分科会ごと） 2分

8 当日の係

	学習指導部会		生徒指導部会		特別支援教育部会	
進行	牟礼岡小	山脇 圭次	牟礼岡小	大園 文博	牟礼岡小	市坪 順子
司会者	本城小	川畑 由美子	宮 小	窪園 徹	本名小	中村 洋一郎
記録者	本城小	富永 圭一	宮 小	五反田 道子	本名小	丹宗 はるか
指導者	本城小	桑鶴 直幸	宮 小	丸山 博三	本名小	末吉 理恵子

9 開催後のアンケート結果

(1) 開催時期と日程について

- 良い（多数）
- 5月中に実施できれば。
- 毎年雨のような気がします、行事等考えるとこれでいいのかなあとと思います。

(2) 運営について

- 良い（多数）
- 係の先生方ご苦労様でした。
- 授業参観から、全体会・分科会と会の流れがスムーズだった。
- 特別支援の授業は、どちらも子どもの特性や思いを尊重された指導の仕方や声かけをされていて、ぜひ、参考にしたいと思った。
- 分かりやすい細やかな配慮のある授業で、とても見ていて楽しかった。
- いろいろな教科や少人数指導の授業を見られるよい機会になった。
- 知っている子どもたちの授業参観をした。顔つきも体つきもがらりと変わって、1年の成長って大きいなと感心した。
- 授業参観ができなかったので残念だった。来年度からは、全員参観ができるように、日程の組み方を工夫したい。

(3) 授業参観の感想について

- 略案や学校内の案内図などがあり、分かりやすく授業内容も分かって、自分の学習になりました。ありがとうございました。
- 子どもたちが落ち着いた様子で授業に望んでいました。
- 学校全体で学習のしつけの共通理解が図られている様子がうかがえました。先生方の熱心さが伝わってきました。ありがとうございました。
- 子どもたちが落ち着いて授業に参加していました。
- あれこれ授業を見て回れるのはいいが、分科会ごとに授業を設定して「教科」「生徒指導に関する学活とか道徳」「特別支援」3本を研究授業のように本格的ではなくても同じ授業を見た後、研究協議ができれば・・・。
- 熱心に集中して授業していた。板書の工夫があった。
- 学級の設営がよかった。自分の教室と比べ、足りないところをさっそく取り入れようと思う。
- 教室がきれいに整頓されていて、学習環境が整っていることに感心しました。子どもたちが落ち着いて学習していて良かったです。

(4) 分科会・研究協議について

- いじめ・不登校など大きな問題はあまりないようで、吉田地区は落ち着いていると感じました。共通実践事項として「あいさつ」「小・中の連携を密に」という2点が決まったので、しっかり取り組みたいと思います。
- 内容の濃い、具体的な話ができて良かったです。
- 学校間の情報交換ができてよかったです。
- 共通実践事項（発表話型）については、他職員へしっかりと周知したい。
- 分科会の進行がとてもスムーズだった。
- 他の学校の先生方の意見を聞いて参考になった。
- 年に一度の連携の場なので、1つでも共通の取り組みを実践出来たらよいと思う。
- 分科会は体育館でするより、分科会ごとに教室に分けた方がいいと感じた。
- 共通実践事項を決めるのは部によってはなかなか難しいと感じた。
- 連携を続けるために、分科会の記録・引き継ぎが大切だと思う。
- 分科会では、もっと他の学校の先生方とも話し合いがしやすくなるように、話し合いの時には、大きな輪ではなく小グループを作り、グループで話し合った結果を基に全体での話し合いを進めると、みんなが自分の意見を話しやすく、まとまりもできると思う。
- 生徒指導の分科会は、校種・学校規模が異なるため共通実践事項を決めるのはとても大変だと思った。
- 特別支援の分科会では、個人情報ということもあるので難しい面もあるけれど、もう少し系統だててできる面があってほしいという意見はとても大切にすべきだと思った。
- 特別支援は、小学校での保護者の意見や検査内容など記録し、中学校に引き継いでいけるように「支援シート」を各学校で協力しながら作成したい。
- よいと思います。(多数)
- 年に一度の連携なので、この機会にいろいろと情報交換することができ、有意義な協議となりました。ただ、年に2回ほどこのような会があればよいと思いました。
- いろいろ出されたので、全職員に報告していきたい。
- 1年に1回とは言え、意見交換・情報交換をすることでとてもよい学習になったと思う。
- 小中の教員が話し合い、共通理解ができた部分もあり、よかった。
- どの学校も同じような課題があり、それをなんとかしようといういろんな策を考えている。他の学校の取組で改めて気づくことも多い。
- 特別支援教育は、中学校との連携の場となるよい機会でした。具体的な子どもたちの困っていること、課題もだされ、勉強になりました。

(5) その他、気付かれたことがあればお書き下さい。

- 終了時刻を、3つの分科会でそろえることができたならよいと思いました。
- 運営のほどお疲れ様でした。
- 小中連携はとても大事だが、なかなか集まる機会がないです。吉田地域の小学校のバレーの練習試合に中学校も来ていただいたり、懇親会を開いたりするのも、いいかもしれませんね。
- 少し寒かった。
- 忙しい中、研修会の場を提供してくださり、ありがとうございます。

10 各学校の今年度の取組

(1) 確かな学力の育成

- ア 基礎的・基本的内容の確実な定着と分かる授業の工夫改善
 - ・ 漢字力・計算力テストの実施・分析
 - ・ チャレンジタイム（朝自習）の充実
 - ・ 標準学力検査等の分析（アンダーアチーバーの把握と指導方法改善）
- イ 基本的な学習習慣の確立及び家庭学習の習慣化の徹底
 - ・ 各学校の定める学習のきまりの実践
 - ・ ペア学習，グループ活動等を通じた学習指導
- ウ 読解力，表現力を高める読書指導の充実

(2) 生徒指導の充実

- ア 生徒指導態勢の確立と共通実践の推進，見届けの徹底
 - ・ 定期的な心の教育推進委員会の実施
 - ・ 連休前，長期休業前の指導の充実
 - ・ 毎月の生活目標の実践
- イ 基本的な生活態度・習慣の確立
 - ・ 全職員での共通理解，共通実践
- ウ いじめ・不登校・非行の未然防止と早期発見，早期対応
 - ・ 毎学期の「いじめを考える週間」の実施
 - ・ 教育相談・縦割り活動

(3) 特別支援教育の充実

- ア 特別支援教育に対する理解・啓発，交流教育の推進
 - ・ 個別の指導計画，支援計画の作成
 - ・ WISC-Ⅲの実施と分析，個への指導への生かし方
 - ・ 本人の特性に応じた教材教具の作成，活用
 - ・ 巡回相談の実施（校内特別支援教育委員会で共通理解を図り，指導・支援方法を検討）
- イ 通常学級との連携による協力態勢の確立
 - ・ TT指導（通常学級に在籍する支援が必要な児童への対応）
 - ・ 個別支援計画による適切な学習指導の推進

10 次年度への課題

(1) 確かな学力の育成

- ア 基礎的・基本的内容の確実な定着と分かる授業の工夫改善
 - ・ 分析を生かし，日常的な漢字，計算力をつける取り組み
 - ・ 基礎基本定着の時間の年間計画の作成
 - ・ 思考力・判断力・表現力を高めるためのICT活用や言語活動の工夫
- イ 基本的な学習習慣の確立及び家庭学習の習慣化の徹底
 - ・ 発表話形の見直し
 - ・ 「学習の七か条」「家庭学習心得（手引き）」の指導の徹底と定期的評価
- ウ 小学校との情報交換・資料交換の強化，共通実践項目の決定と取組

(2) 生徒指導の充実

- ア 生徒指導態勢の確立と共通実践の推進，見届けの徹底
 - ・ 全職員が気軽に話せる雰囲気醸成
 - ・ 生徒指導委員会と学年部会との連携の強化，共通理解・共通実践の徹底

イ 基本的な生活態度・習慣の確立

- ・ 「生活のきまり」(小)及び「生活の指針」(中)の指導の徹底

ウ いじめ・不登校・非行の未然防止と早期発見，早期対応

- ・ 子どもたちの様子を把握する手立て(アンケート)の実施と分析
- ・ 定期的な教育相談の充実，不登校児童・生徒の家庭との連携の強化
- ・ 小学校との情報交換の強化

(3) 特別支援教育の充実

ア 特別支援教育に対する理解・啓発，交流教育の推進

- ・ 特別支援教育の保護者への啓発
- ・ 児童の特別支援教育に対する理解
- ・ 職員研修の充実とLDを想定した通常学級での支援・配慮の充実

イ 通常学級との連携による協力態勢の確立

- ・ 学級担任の連携の強化
- ・ 個別支援計画の作成と共有化，定期的な評価と見直し
- ・ 支援を必要としている児童理解と，個にあった指導・支援
- ・ 個に応じた進路指導
- ・ 小学校との情報交換の強化